

## マリオヴィツァ (2729m)

8月12日(金)、サパレヴァ・バーニャへ向かい、ここからパニチシテを経てリフト乗り場まで上がる。リフト乗り場の有料駐車場は沢山の車で埋まっていた。7つの湖を巡るハイキングは大変な人気ようだ、週末の夏のシーズンとも重なり満員。バイク自転車の大会も予定されている。コースが作られており、リフトで上がってバイクで下る光景にも出会った。リフトのアームに自転車がぶら下げられるようにあらかじめ取っ手が付けられていた。リフトは往復18Leva。有効期限は1週間。

予定では、リフト終点から50分程歩いたところにある7湖小屋に泊まるつもりであったが、リフト終点にあるリゾートロッジ(Rilski Ezera Hut)のドミトリー部屋に泊まることになった。これは、親切な女性が、私たちの泊まる予定の小屋に電話をかけ、満室で宿泊不可であることを英語で教えてくれたおかげである。その上、ロッジの予約までしてくれた。この他にも、全体にブルガリアの人たちは素朴で親切であった。食べ物も口に合い易いと感じた。ただ、道路の路面状態は良くない。



チェアリフト乗り場



リフトは快適で楽ちんであるが帰りの待ち時間は40分



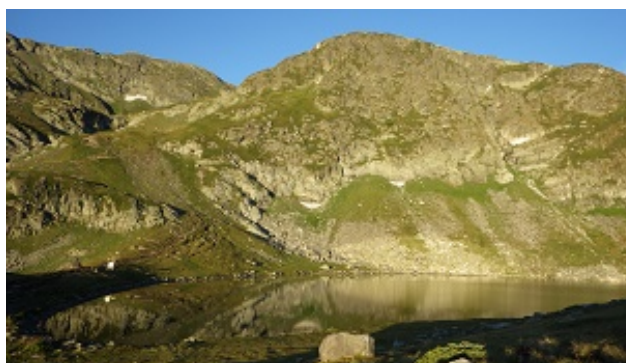
ホテルのようなロッジ (Rilski Ezera Hut)



奥の皿は、緩く調理されたブルガリアの味付けご飯

個室は満室でドミトリーに宿泊できた。朝食なしで一人28Leva。下界よりも高く、年々値上っているようだ。施設は古く痛んでいるが、食堂の夕食の食事は美味しかった。ドミトリーに宿泊できただけもよかった。

7つの湖を巡るハイキングは尾根伝いに急な坂道を登り始めるものと、7つの湖の最初の湖畔に立つ7湖小屋に向かう2つの道に分かれる。翌8月13日(土)の登山では、変化を持たせるため、出だしは尾根道を使い、帰りは小屋を回る道を選んだ。7湖小屋の周辺には多くのテントが立てられていた。オーバーユースの状態。ちなみに帰りのリフト待ちは40分であった。



尾根伝いに急な道を登った後は平坦な道が続く。ハート形の湖を過ぎたところから滝が形成される程の急な道になる。ここを登り切って、さらに進むと湖を見渡せる展望台に出る。ここまでハイキングで登る人が多い。



展望台（展望台からは湖がよく見える）

急な登り →

